

東京

「其の日」暮らし

|| ドイツ編 ||



ドイツのパーティー

ドイツは八月でも肌寒くもう長袖を着ています。九月にはいると「冬時間」になり時計を一時間遅らせて本格的な秋が始まります。

ドイツの結婚前のお披露目パーティーに行ってきました。結婚する二人はアパートの一階に住んでいるトラスティンさんとインケンさんです。

事の始まりはアパートの一階にある掲示板にとっても長い連絡事項が書かれていました。ドイツ語が全く分からないので、紙に書き写そうと紙と鉛筆をもって玄関に出た時にトラスティンさんに出会いました。彼は英語が出来るので、以前から細かい規則などを教えてもらっていました。その時も「掲示板の内容を知りたくて書き写しに来ました」と話したら「ああ！ それは僕たちの結婚のパーティーの事だよ」とのこと。その上「君も家族と一緒においでよ」と誘ってくれたのです。その時まで二人は結婚していると思いきや、たので、最初は結婚記念日で十年目位のお祝いと言ったのを聞き違えたと思っていました。一応掲示板の内容を書き写して辞書を調べてみると、どうも様子が違うのです。掲示板には Polterabend (花嫁の家の前で食器などを割って祝う御礼前夜の騒ぎ) とあるのです。「??? 結婚前夜? まだ結婚していなかったの?」と不思議に思っていました。それよりも「私たちは引越して一ヶ月しか経っていなくて全然親しくないのに、成り行きで誘わざるを得なくなったのではないか」と変な心配をしつつも、押し寿司を作って参加させてもらいました。

当日は、前日の冷たい雨が嘘のようにとても良い天気で、夕方の冷え込みもほとんどありませんでした。バーベキューがメインの立食形式で、シンプルだけど皆と一緒に楽しめるパーティーといった感じです。パーティーは五時開始の予定でしたが、皆が料理やプレゼントを持って揃いだしたのは六時頃。でも外はまだまだ明るいので気にもならず、来ている人たちが全員に挨拶をしてのんびり待っていました。すると招待客がいきなり食器を割り始めるではないですか！ そこでようやく Polterabend の「食器を割る」という意味が分かりました。私たちもドキドキしながらお皿投げに参加させてもらいました。「食器



Polterabendの様子

の割れる音が幸運を招き、割る数が多ければ多いほど幸運がやってくる、割れた食器は必ず結婚する二人が掃除をしないといけない」と教えてもらいました。ドイツの伝統的な儀式らしいですが、意味を教えてくださいました。「この儀式をするのは50%位の人で、実際に見たのは私も初めてなのよ。私たちの時はこの儀式をしなかったけど、とてもハッピーよ」とのこと。もっと年配の女性も「若い人はこういうのが好きなのよ。私はしなかったけどドイツの伝統的な儀式よ」と話してくれました。最初は片づいていた地面も割れる食器が多すぎて、だんだん掃除が間に合わなくなってきました。そしてパーティーは夜更けまで続いたのでした。ドキドキしながらの参加でしたが、みんな英語で話しかけてくれたり、裏の家の家族とも少し話をしたりして、楽しく過ごさせてもらいました。

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞